
エキセントリックプラネットモデル

関村俊介

登場人物

土居（ドイ）
冷泉（レイセン）
三浦（ミウラ）
鞠花（マリカ）
結花（ユウカ）
橋田（ハシダ）
曾我（ソガ）
花村（ハナムラ）
鳥飼（トリカイ）
ジョニー（ジョニー）
岡本（オカモト）

朝。河原。ドイは川のほうを見ている。

オカモトは持ち運べる椅子に座って、絵を描いている。
ハナムラはその近くで朝のオリジナル体操をしている。

花村 前から聞こうと思ってたんですけど。

岡本 なに？

花村 オカモトさんってプロなんですか？

岡本 プロ？プロの歌手ってこと？

花村 違います。絵の。

岡本 ああ、これのこと。

花村 普通そうでしょう。

岡本 そうだよね。

花村 なんで歌手だと思ったんですか。

岡本 あ、昔ちよっとね。

花村 やってたんですか。

岡本 ちよっとね、東京でね、アイドル歌手を。

花村 え？

岡本 え？

花村 いや、そうなんですか。知らなかったなあ。

岡本 秘密だよ。でもなんでプロの絵描きかもしれないと思ったの？見たらわかるでしょ。ヘタクソじゃ
ん。

花村 絵がヘタクソかどうかは俺はわかりませんが、素人なんで。

岡本 そう。

花村 ずっと描いてるから、プロの絵描きさんなのかなあ、って。

岡本 だったらハナムラさんだっけと体操してるじゃない。

花村 まあそうですけど。

岡本 趣味ですよ。

そこにトリカイとジヨニーが来る。

ジヨニーには首輪とリードがつけられている。

鳥飼 おはようございます。

花村 おはようございます。

岡本 おはようございます。

花村 おはようジヨニー。

ハナムラはジョニーの顔をなでまくる。

鳥飼 喜んでますわ。

花村 かわいいなあ、ジョニーは。

鳥飼 かわいいし、いい子でしょ。

岡本 おとなしいし。この絵が完成したら、次はジョニーにモデルやってもらおうかな。

鳥飼 本当ですか？

岡本 もちろん。

鳥飼 おい！ジョニー、モデルだってよ！嬉しいなあ！

トリカイもジョニーの顔をなでまくる。

花村 俺も飼おうかなあ。

鳥飼 え？

花村 俺もアヒル飼おうかなあ。

岡本 いいですねえ。

鳥飼 え？やめてくださいよ。

花村 え？なんで？仲間が増えたら嬉しくないですか？ジョニーも喜ぶと思うし。

鳥飼 いやいやいや、かぶっっちゃうじゃん。

花村 え？

鳥飼 かぶっっちゃうじゃん。って。

花村 どういうことですか？

鳥飼 どういうことって、わかりませんか。ジョニーを飼っていることが俺の個性みたいところあるじゃ

ないですか。

花村 そうですか？

鳥飼 そうでしょう。だからかぶせないでくださいよ。

花村 ジョニーいなくてもトリカイさんはじゅうぶん個性的だと思いますけどね。

鳥飼 あ、わかってないな。

花村 なにがです？

鳥飼 トリカイだけについていうのもありますよ？

花村 なんですか？

鳥飼 俺の名前がトリカイなだけに、アヒルを飼ってるみたいなどころもあるわけですよ。

花村 はあ。

鳥飼 もし！もしも！俺がイヌカイだったら犬飼ってますよ。それは。絶対に。

岡本 犬を飼ってないイヌカイさんもいると思いますけどね。

鳥飼 そんな話はしてないです、犬飼ってないイヌカイさんの話はしてないの。もしも俺がイヌカイだったらって話です。

岡本 なんかごめんなさい。

鳥飼 でもね！俺は！トリカイだから！鳥を飼うしかないでしょ、っていう。何を俺は熱く語ってるんですか？

花村 こっちが聞きたいですよ。

鳥飼 とにかく、かぶせてこないでほしいなあっていうことです。どうしても飼いたっていうなら、それはもちろん自由ですけど。

花村 わかりました、飼いません。俺はアヒルを飼いません。

鳥飼 ありがとうございます。

岡本 じゃあ僕が飼おうかなあ。

鳥飼 オカモトさん。

岡本 冗談冗談。

鳥飼 オカモトさん。

岡本 だから冗談だって、ごめんね。

鳥飼 オカモトさん。

岡本 怒られちゃったよ。怖いねジョニー。

オカモトもジョニーの顔をなでようとするが、
ジョニーは拒否する。

鳥飼 オカモトさん。

岡本 なになに？

鳥飼 オカモトさん。

岡本 怖い怖い。

鳥飼 オカモトさん。

岡本 え？これどうやったら止まるの？

花村 そうだなあ。

鳥飼 オカモトさん。

花村 あ、オカモトさんっていえば、知ってました？

鳥飼 オカモトさん。

花村 オカモトさんって、昔、東京でアイドル歌手やってたんだって。

鳥飼 え！？マジですか？

岡本 よかった止まった。

花村 トリカイさんは身近なゴシップが大好きなんですよ。

岡本 えー？ちよつと待って、僕、それ秘密だよってさっき言ったよね？

花村 はい。

岡本 だよね。

花村 はい。

岡本 ハナムラさん。

花村 ごめんなさい、つい、なんか流れるにこれしか思いつかなくて。

岡本 ハナムラさん。

鳥飼 でも東京ってどうやって帰ってきたんですか。

岡本 ハナムラさん。

花村 あ、そうですね。

岡本 ハナムラさん。

花村 でも、昔って言ってたから。

岡本 ハナムラさん。

鳥飼 そうか、まだ5年くらいですもんね、東京が日本から独立して、入るのも出るのも簡単にできなくなってるから。

岡本 意外とうまくできないもんだね。

花村 なにがですか？

岡本 何回も名前言うやつ。

花村 はあ。

鳥飼 いつの間にか慣れちゃったけど、改めて考えると変な感じですよね。

花村 ん？

鳥飼 だって見えてるのに、東京。

花村 ああ、川の向こうは東京ですもんね。

鳥飼 泳いだら行けなくもないわけじゃないですか。

花村 行けてもどうなっちゃうかわからないから行こうと思わないけどね。

鳥飼 あれ？

花村 なんですか。

鳥飼 アイドルって言いました？さつき。

花村 はい。

鳥飼 アイドル。

岡本 やめてよ、実はちよつと恥ずかしいんだから。

花村 ちよつとなんだ。

岡本 なに？

花村 でも、本当は喋りたかったですよね。

岡本 アイドルの話？そんなことないよ（そんなことある顔）。

花村 絶対、喋りたかったやつじゃないですか。

鳥飼 ちゃんと聞かせてくださいよ。

岡本 また今度ね。

鳥飼 今度とかじゃなくて、今でいいじゃないですか。

岡本 いやいや。ほら、ジョニーも早く散歩の続きしたそうだし。

鳥飼 ジョニーも聞きたいよな？

花村 さすがに聞きたいってことはないと思いますけどね。

鳥飼 俺はわかりますから、ジョニーの気持ちだが、目を見れば。

トリカイはジョニーの顔を持って目を見つめた。

鳥飼 散歩したいみたい。

花村 あ、そうなるんだ。じゃあ本当にこの人はジョニーの気持ちができるのかもな。

岡本 そうしてあげなよ。

鳥飼 いや、それでもね。俺は、今聞きたい。

花村 なんでだよ。

岡本 ジョニーがかわいそうじゃん。

鳥飼 聞いている間、自由にさせておきますから。

トリカイはジョニーのリードを外す。

花村 大丈夫なんですか。

鳥飼 大丈夫です。人を噛んだりとかしないし。

ジョニーは猛ダッシュでどこかに行った。

鳥飼 で、そもそもどうやってデビューしたんですか、やっぱりスカウトとか？

岡本 ねえ、ジョニー大丈夫？

鳥飼 だから、人を噛んだりは、

花村 そうじゃなくて、あれ逃げてない？

鳥飼 逃げてないですよ。

ジョニーのほうを見る。

鳥飼 逃げてるじゃないですか！

花村 ですよね？

鳥飼 ジョニー！ジョニー！

トリカイとハナムラはジョニーを追いかけていく。

オカモトも絵の道具などをまとめて持ってから追う。

途中からドイはそれを見ていた。

マリカとユウカがなんとなく入ってきて座る。

土居 手伝ってあげればよかったのかな。

鞠花 アヒル捕まえるの？

土居 うん。

結花 触れる自信ある？

土居 触れる自信とは？

結花 だからアヒルによ。

土居 え？触れるでしょ。

結花 ちゃんと想像してみて。

土居 想像してみた。

結花 どう？

土居 北京ダックが完成した。

鞠花 あんた人がペットにしてるアヒルを食べちゃえるんだ。凄いね。

土居 でも、触れはしなかったね。

鞠花 触れはしなかったのかよ。

土居 残念ながら。

結花 やっぱり、あんたが手伝ったところでどうせ捕まえられてなかったわけだね。

土居 そうだね。

結花 うん。

土居 無事だといいいんだけど。

鞠花 おお。想像の中で食べちゃったヤツがそれを言えるんだ。

土居 このままいなくなっちゃったら食べられないからね。

鞠花 だから食べるなよ。

土居 さつきは凄いいねって言ってたのに。

鞠花 あれ褒めたわけじゃないから。

土居 でもさあ。

結花 なに？

土居 アヒルだったら東京に行けるんだよね。

結花 うん？

土居 川泳いで渡ってさ。え？待って、飛べるんだっけ？

結花 飛べないでしょ。あれ？飛べるんだっけな？

鞠花 ちよつとだけ飛べるでしょ。

結花 そうだっけ？

鞠花 自信はない。

土居 まあどっちでもいいけどさ。

結花 え、どっちでもよくない。

土居 泳げるのは間違いないんだからさ。

結花 私はそういうのはつきりさせたいタイプだから。

鞠花 私もどっちでもいいかな。

結花 え！？

鞠花 なに？

結花 姉ちゃんも！？

鞠花 うん。

結花 あとで絶対に調べよう。

ドイは東京のほうを見た。

鞠花 てかさ、あんまりジロジロ見ないほうがいいんじゃない？

土居 知らないおじさん？

鞠花 知らないおじさんも、東京も。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

エキセントリックプラネットモデル（おためしサンプル）

2025年11月21日 初版発行

著 者 関村俊介 © 2025年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-24-9529
